

## バイオサイエンス学科 論文発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員および研究員、※は大学院生、卒研生または卒業生

題名	Time-dependent enhancement of hippocampus-dependent memory after treatment with memantine: Implications for enhanced hippocampal adult neurogenesis.
掲載雑誌	Hippocampus (2014) 24, 784-793.
著者	Ishikawa R, Kim R, Namba T, Kohsaka S, <u>Uchino S</u> , Kida S. 【神経生物学研究室】
概要	<p>本研究は東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科・動物分子生物学研究室の喜田聡教授との共同研究である。これまでに我々はアルツハイマー型認知症の治療薬であるメマンチンを成体マウスに投与することで、海馬歯状回での神経新生が更新することを見出した。本研究では、喜田教授と共同で、新生した神経細胞によりマウスの記憶力が向上することを確認した。メマンチンの臨床における薬理効果は、NMDA受容体の阻害効果を有することから神経細胞の保護と考えられているが、本研究結果は、加えて神経新生が亢進することで高次脳機能の改善の可能性を示唆した興味深い結果である。</p>